

図解 交通年鑑

(平成24年版)



TOTTORI POLICE

鳥 取 県 警 察 本 部

目 次

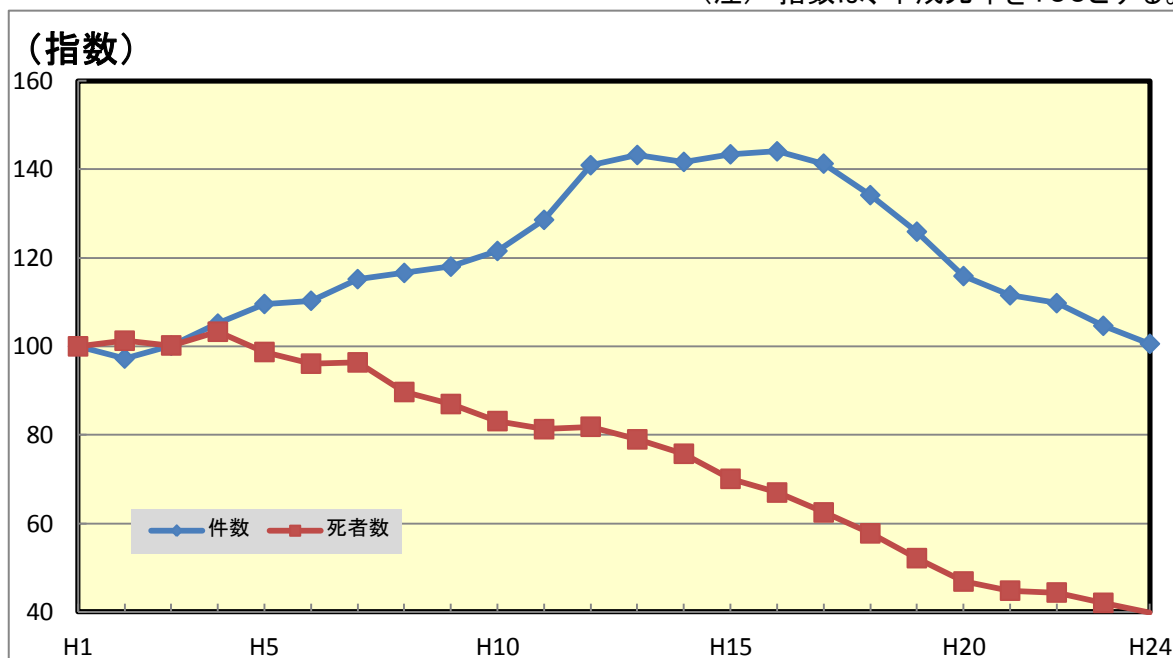
1	全国の交通事故	1
	(1) 全国の交通事故の推移	1
	(2) 都道府県別交通事故死者数	2
2	鳥取県の交通事故	3
	(1) 鳥取県の交通事故の推移	3
	(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率	4
	(3) 月別発生状況	5
	(4) 曜日別発生状況	5
	(5) 時間別・昼夜別発生状況	6
	(6) 道路別発生状況	7
	(7) 事故類型別発生状況	7
	(8) 年齢層別死傷者数	8
	(9) 状態別死傷者数	8
3	子供の交通事故	9
	(1) 子どもの交通事故の推移	9
	(2) 学齢別死傷者数	9
	(3) 状態別死傷者数	10
4	高齢者の交通事故	11
	(1) 高齢者の交通事故の推移	11
	(2) 状態別死傷者数	11
	(3) 男女別死傷者数	12
	(4) 高齢者(第1当)事故件数	12
5	歩行者の交通事故	13
	(1) 歩行者の交通事故の推移	13
	(2) 年齢層別死傷者数	13
	(3) 事故類型別死傷者数	14
	(4) 歩行者の違反別死傷者数	14
6	自転車の交通事故	15
	(1) 自転車の交通事故の推移	15
	(2) 年齢層別死傷者数	15
	(3) 事故類型別死傷者数	16
	(4) 自転車の違反別死傷者数	16
7	二輪車(自動二輪・原付)の交通事故	17
	(1) 二輪車の交通事故の推移	17
	(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)	17
	(3) 事故類型別死傷者数	18
	(4) 二輪車の違反別死傷者数	18
8	交通死亡事故発生状況	18
	(1) 年齢層別・状態別死者数	19
	(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数	19
	(3) 第1当事者の状態別・違反別件数	20
	(4) 路線別・道路形状別件数	20

1 全国の交通事故

(1) 全国の交通事故の推移

全国の死者数は12年連続で減少し、発生件数及び負傷者数も8年連続で減少した。

(注) 指数は、平成元年を100とする。



区分 年別	件数	死者数	負傷者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和46年	700,290	16,278	949,689	平成4年	695,346	11,452	844,003
47	659,283	15,918	889,198	5	724,678	10,945	878,633
48	586,713	14,574	789,948	6	729,461	10,653	881,723
49	490,452	11,432	651,420	7	761,794	10,684	922,677
50	472,938	10,792	622,467	8	771,085	9,943	942,204
51	471,041	9,734	613,957	9	780,401	9,642	958,925
52	460,649	8,945	593,211	10	803,882	9,214	990,676
53	464,037	8,783	594,116	11	850,371	9,012	1,050,399
54	471,573	8,466	596,282	12	931,950	9,073	1,155,707
55	476,677	8,760	598,719	13	947,253	8,757	1,181,039
56	485,578	8,719	607,346	14	936,950	8,396	1,168,029
57	502,261	9,073	626,192	15	948,281	7,768	1,181,681
58	526,362	9,520	654,822	16	952,709	7,425	1,183,616
59	518,642	9,262	644,321	17	934,339	6,927	1,157,115
60	552,788	9,261	681,346	18	887,257	6,403	1,098,566
61	579,190	9,317	712,330	19	832,691	5,782	1,034,653
62	590,723	9,347	722,179	20	766,382	5,197	945,703
63	614,481	10,344	752,845	21	737,628	4,968	911,215
平成元年	661,363	11,086	814,832	22	725,903	4,922	896,294
2	643,097	11,227	790,295	23	692,056	4,663	854,610
3	662,392	11,109	810,245	24	665,138	4,411	825,396

(2)都道府県別交通事故死者数

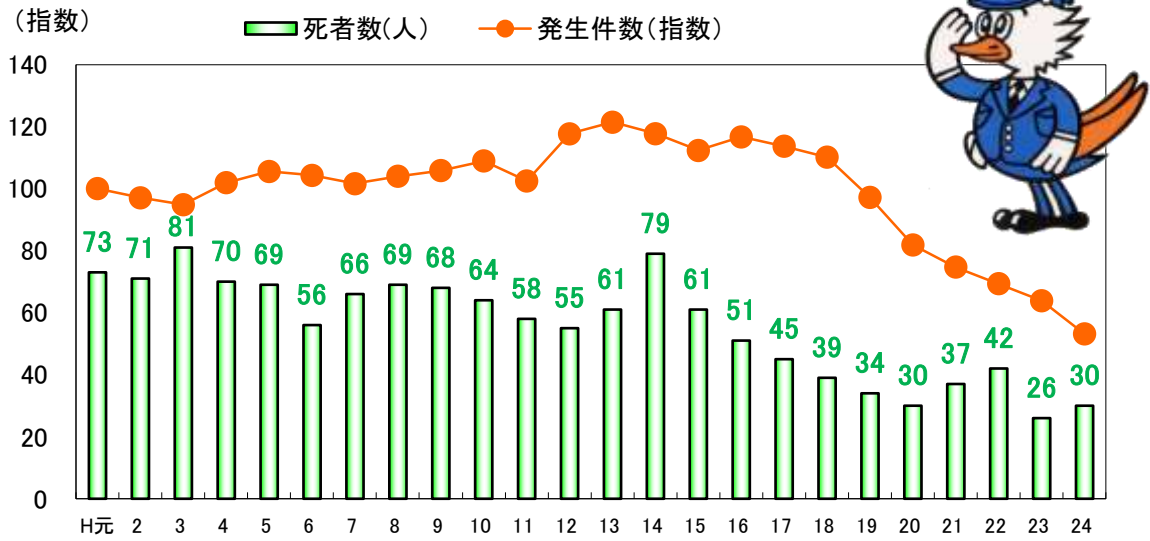
都道府県	死者数	人口 当り	車両台数 当り	免許人口 当り	道路実延長 当り	走行台 [※] 当り
北海道	200	3.646	0.499	0.591	2.224	0.763
青森	59	4.329	0.524	0.684	2.984	0.827
東岩手	83	6.317	0.717	0.987	2.500	1.011
宮城	64	2.750	0.353	0.422	2.576	0.605
秋田	42	3.907	0.455	0.607	1.765	0.593
北山形	37	3.187	0.352	0.475	2.236	0.495
福島	89	4.472	0.501	0.682	2.283	0.776
東京都	183	1.387	0.358	0.242	7.604	1.134
茨城	142	4.801	0.516	0.693	2.526	0.884
栃木	94	4.700	0.504	0.674	3.751	0.837
関群馬	106	5.297	0.553	0.752	3.034	1.057
埼玉	200	2.775	0.450	0.436	4.266	1.159
千葉	175	2.816	0.444	0.443	4.348	1.081
神奈川	179	1.976	0.382	0.323	7.766	1.260
新潟	107	4.530	0.515	0.677	2.852	0.777
東山梨	40	4.667	0.474	0.671	3.584	0.920
長野	97	4.528	0.464	0.652	2.024	0.843
静岡	155	4.134	0.484	0.604	4.235	0.998
富山	47	4.320	0.494	0.630	3.404	0.760
中石川	44	3.774	0.469	0.571	3.369	0.670
福井	37	4.608	0.525	0.684	3.426	0.753
岐阜	121	5.843	0.680	0.853	3.961	1.037
部愛知	235	3.169	0.432	0.472	4.707	0.951
三重	95	5.143	0.569	0.753	3.790	0.909
滋賀	79	5.587	0.690	0.835	6.377	1.145
近京都	106	4.027	0.624	0.668	6.865	1.314
大阪	182	2.054	0.402	0.359	9.385	1.133
兵庫	179	3.207	0.504	0.517	4.935	0.998
畿奈良	49	3.510	0.490	0.540	3.890	0.961
和歌山	50	5.025	0.531	0.730	3.712	1.016
鳥取	30	5.128	0.593	0.780	3.413	0.703
中島根	45	6.320	0.739	0.970	2.474	0.931
岡山	112	5.770	0.649	0.866	3.496	1.096
国広島	125	4.378	0.565	0.674	4.350	1.061
山口	56	3.883	0.469	0.598	3.395	0.655
四徳島	32	4.103	0.461	0.601	2.126	0.665
香川	81	8.165	0.901	1.191	7.908	1.505
愛媛	56	3.935	0.458	0.596	3.085	0.815
国高知	53	6.992	0.780	1.070	3.808	1.176
福岡	161	3.170	0.443	0.499	4.322	0.930
九佐賀	46	5.431	0.616	0.812	4.265	0.850
長崎	39	2.752	0.356	0.451	2.170	0.592
熊本	82	4.523	0.528	0.686	3.175	0.889
大分	40	3.359	0.387	0.512	2.194	0.553
宮崎	50	4.421	0.480	0.651	2.501	0.766
州鹿児島	87	5.121	0.560	0.771	3.214	0.965
沖縄	40	2.855	0.343	0.445	4.982	0.687
合計	4,411	3.452	0.486	0.541	3.637	0.926

- 注1 「人口当り」は10万人当りの死者数で、算出の基礎となった人口は総務省の平成23年10月1日現在の確定人口である。
- 2 「車両台数当り」は1万台当りの死者数で、算出の基礎となった車両台数は平成24年10月末現在の国土交通省資料による。
- 3 車両台数に含まれている「原付台数」「小特」（ミニカーを含む。）は平成23年4月1日現在の総務省資料による。
- 4 「免許人口当り」は1万人当りの死者数で、算出の基礎となった免許人口は平成24年12月末現在である。
- 5 「道路延長当り」は1000km当りの死者数で、算出の基礎となった道路延長は平成23年4月1日現在国土交通省資料による。
- 6 「走行台[※]当り」は1億走行台[※]当りの死者数で、平成22年道路交通センサスによる路線（一般道路計）の走行台[※]から算出。

2 鳥取県の交通事故

(1) 鳥取県の交通事故の推移

死者数は、増加に転じたが、発生件数及び負傷者数は8年連続して減少した。



(注) 指数は、平成元年を100とする。

区分 年別	死者数	区分 年別	死者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和24年	9	昭和46年	134	平成5年	2,757	69	3,175
25	18	47	120	6	2,724	56	3,070
26	24	48	109	7	2,654	66	2,970
27	31	49	72	8	2,717	69	3,103
28	21	50	89	9	2,765	68	3,075
29	32	51	90	10	2,846	64	3,217
30	38	52	61	11	2,677	58	3,413
31	42	53	54	12	3,074	55	3,943
32	34	54	52	13	3,172	61	4,152
33	45	55	61	14	3,075	79	4,051
34	60	56	57	15	2,934	61	3,772
35	38	57	71	16	3,048	51	3,992
36	63	58	69	17	2,970	45	3,905
37	49	59	61	18	2,878	39	3,698
38	55	60	60	19	2,539	34	3,236
39	50	61	58	20	2,138	30	2,733
40	85	62	53	21	1,952	37	2,439
41	87	63	50	22	1,812	42	2,273
42	104	平成元年	73	23	1,668	26	2,076
43	106	2	71	24	1,389	30	1,658
44	112	3	81				
45	117	4	70				

(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率

	発生件数		死者数		負傷者数		人口*	第一当居住地別	
		1万人当り		1万人当り		1万人当り		発生件数	1万人当り
岩美町	24	19.9	1	0.8	34	28.1	12,084	37	30.6
鳥取市	545	27.9	6	0.3	661	33.8	195,670	441	22.5
八頭町	24	13.5	1	0.6	30	16.9	17,776	42	23.6
若桜町	5	13.7		0.0	8	21.9	3,656	12	32.8
智頭町	9	12.1		0.0	10	13.4	7,455	7	9.4
湯梨浜町	35	20.7	2	1.2	42	24.9	16,876	30	17.8
三朝町	7	10.3		0.0	8	11.8	6,803	12	17.6
倉吉市	108	21.6	6	1.2	122	24.4	49,981	85	17.0
北栄町	34	22.6	1	0.7	39	25.9	15,072	26	17.3
琴浦町	25	13.8	1	0.6	28	15.5	18,086	36	19.9
大山町	27	15.9		0.0	36	21.1	17,028	33	19.4
日吉津村	14	40.9		0.0	15	43.9	3,419	6	17.5
米子市	427	28.8	6	0.4	498	33.6	148,222	336	22.7
南部町	13	11.4	2	1.8	13	11.4	11,406	26	22.8
境港市	62	17.7	2	0.6	73	20.8	35,038	61	17.4
伯耆町	15	13.2		0.0	21	18.5	11,321	15	13.2
江府町	7	21.8	1	3.1	12	37.3	3,216	6	18.7
日野町	6	16.8	1	2.8	5	14.0	3,569	1	2.8
日南町	2	3.9		0.0	3	5.8	5,192	8	15.4
合計	1,389	23.9	30	0.5	1,658	28.5	581,870	1,220	21.0

* 平成24年10月1日現在の推計人口

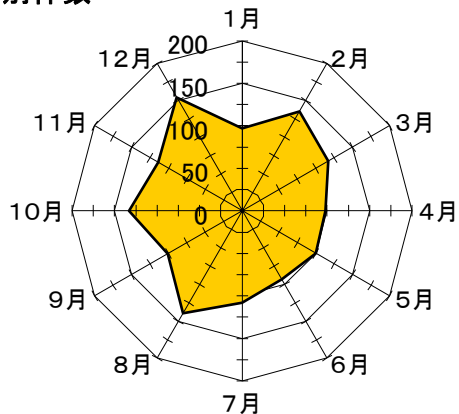
県外者	159
不明	10
総計	1,389

(3) 月別発生状況

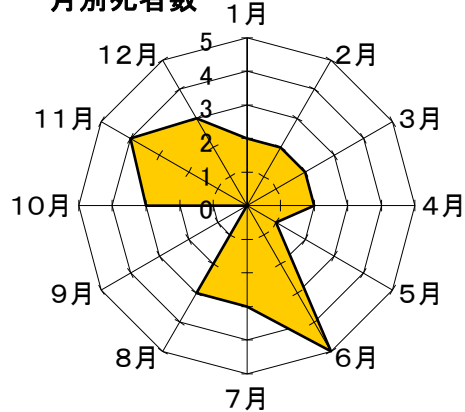
発生件数は、12月、8月の順に多く発生した。また、6月は最も少なく93件であった。

死者数は、6月が5人と最多であり、9月は0人であった。

月別件数



月別死者数



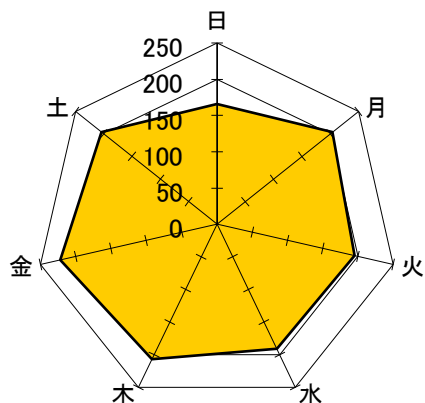
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	97	135	117	98	100	93	108	139	101	133	114	154	1,389
死者数	2	2	2	2	1	5	3	3	0	3	4	3	30
負傷者数	118	155	137	122	122	99	119	175	123	165	140	183	1,658

(4) 曜日別発生状況

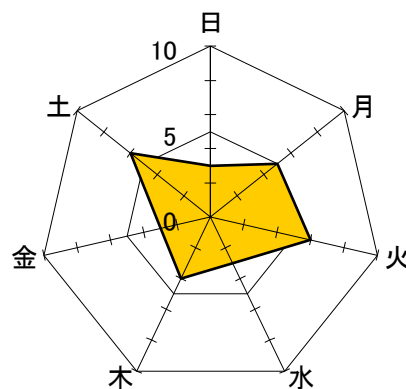
発生件数は、金曜日が222件と最も多く、日曜日が166件で最も少ない。

死者数は、火曜日と土曜日が6人で最も多い。

曜日別件数



曜日別死者数



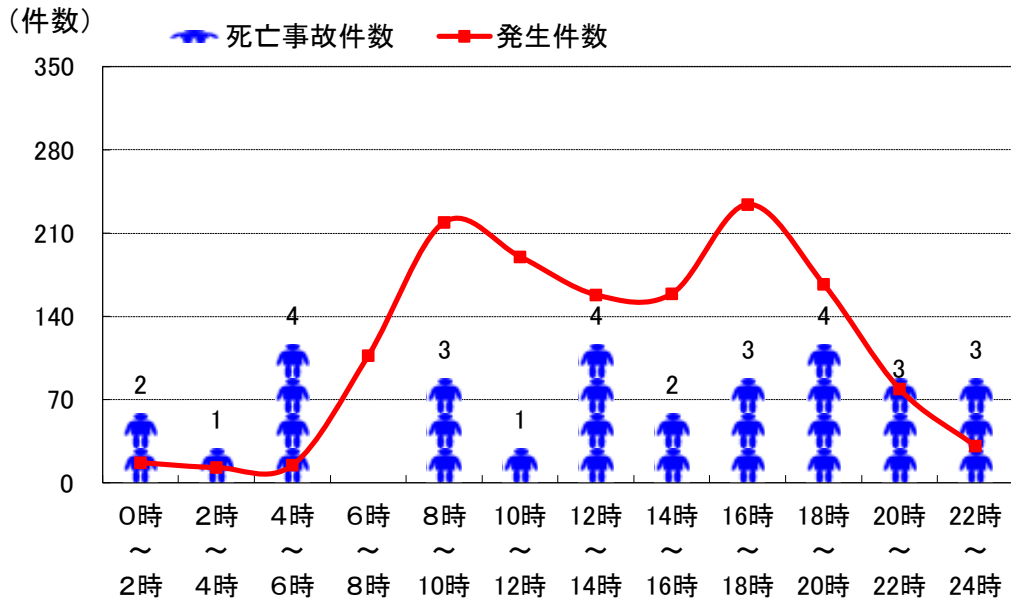
	日	月	火	水	木	金	土	合計
発生件数	166	204	195	191	207	222	204	1,389
死者数	3	5	6	3	4	3	6	30
負傷者数	217	240	226	219	233	269	254	1,658

(5) 時間別・昼夜別発生状況

ア 時間別

発生件数は、6時ころから増え始め、薄暮時間帯に最も多く発生している。

死亡事故は、4時から6時、12時から14時、18時から20時の発生が最も多い。

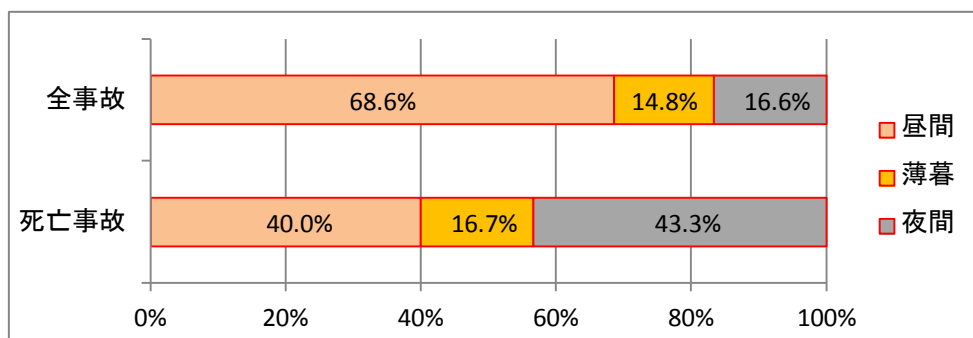


発生時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
発生件数	17	13	15	107	219	190	158	159	234	167	79	31	1,389
死亡事故件数	2	1	4		3	1	4	2	3	4	3	3	30

イ 昼夜別

全事故の68.6%が昼間に発生している。

死亡事故は、夜間が43.3%と最も割合が高い。

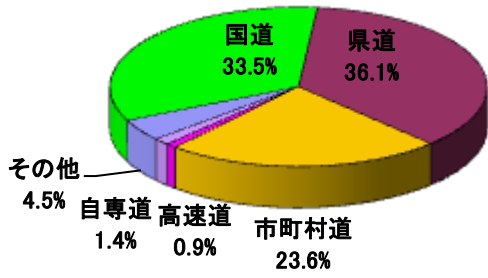


	昼間	薄暮時	夜間	合計
全事故件数	953	205	231	1,389
死亡事故件数	12	5	13	30

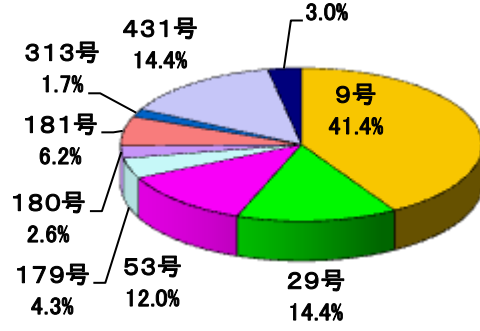
※ 「薄暮時」は、日没時間前後1時間

(6) 道路別発生状況

道路別発生割合



国道路線別発生割合

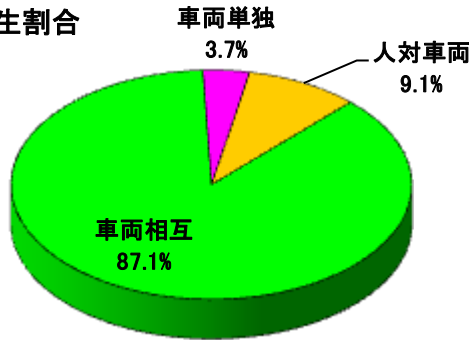


	国 道									計
	9号	29号	53号	179号	180号	181号	313号	431号	その他	
件数	193	67	56	20	12	29	8	67	14	466

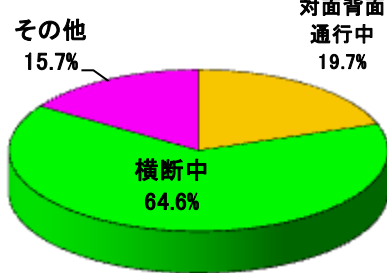
	高速道	自専道	県道			市町村道	その他	合計
			主要	一般	計			
件数	13	19	172	329	501	328	62	1,389

(7) 事故類型別発生状況

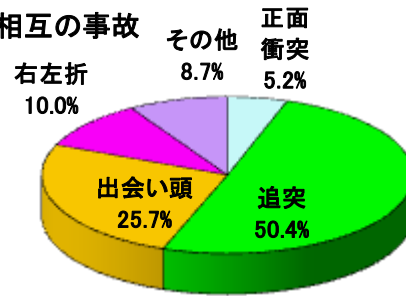
類型別発生割合



人対車両の事故



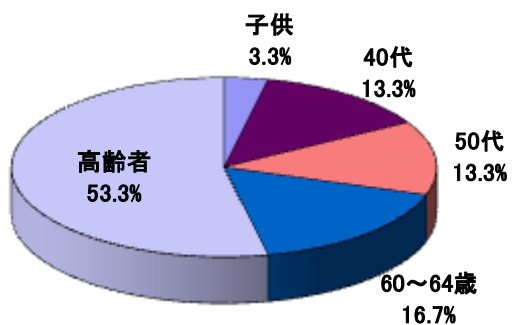
車両相互の事故



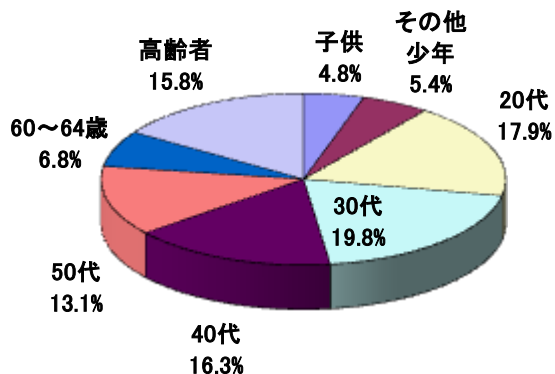
	人 対 車 両			車 両 相 互					車 両 単 独		列車	合計
	対面 背面 通行中	横断中	その他	正面 衝突	追突	出会い頭	右左 折時	その他	工作物 衝突	その他		
件数	25	82	20	63	610	311	121	105	33	19		1,389
総数	127			1,210					52			1,389

(8) 年齢層別死傷者数

年齢層別死者の割合



年齢層別負傷者の割合

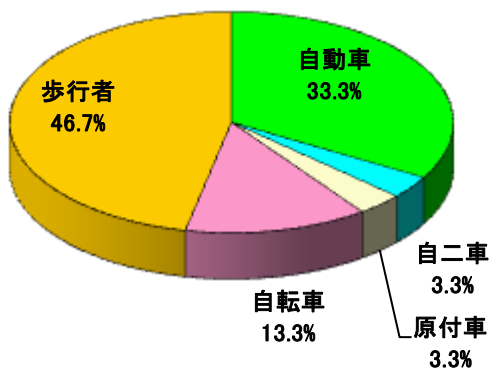


	子供	その他少年	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
死者数	1				4	4	5	16	30
負傷者数	80	90	296	328	271	218	113	262	1,658

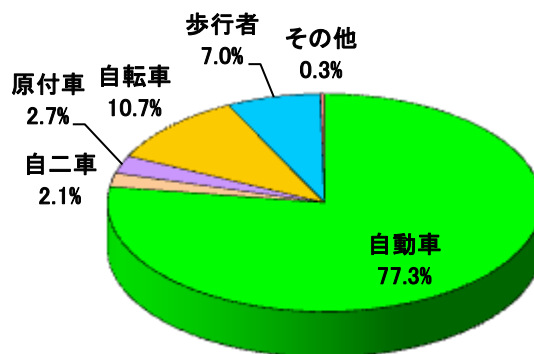
※ 子どもは、中学生以下

(9) 状態別死傷者数

状態別死者の割合



状態別負傷者の割合



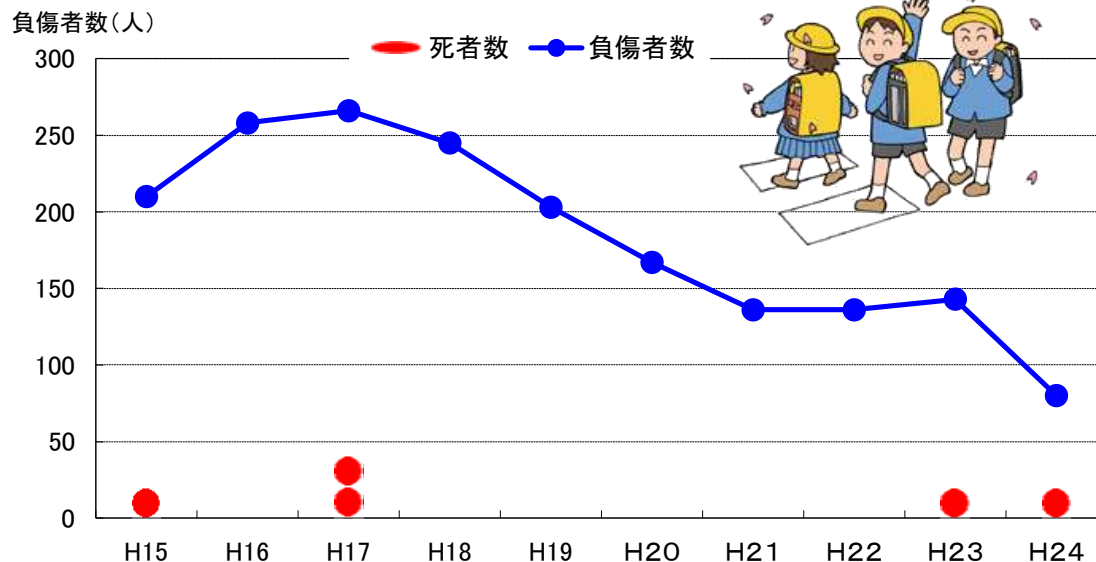
	自動車		自二車		原付車		自転車		歩行者	その他	合計
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者数	8	2	1		1		4		14		30
負傷者数	994	288	33	1	44		175	2	116	5	1,658

3 子どもの交通事故

(1) 子どもの交通事故の推移

負傷者数は前年から大幅に減少し、80人となった。

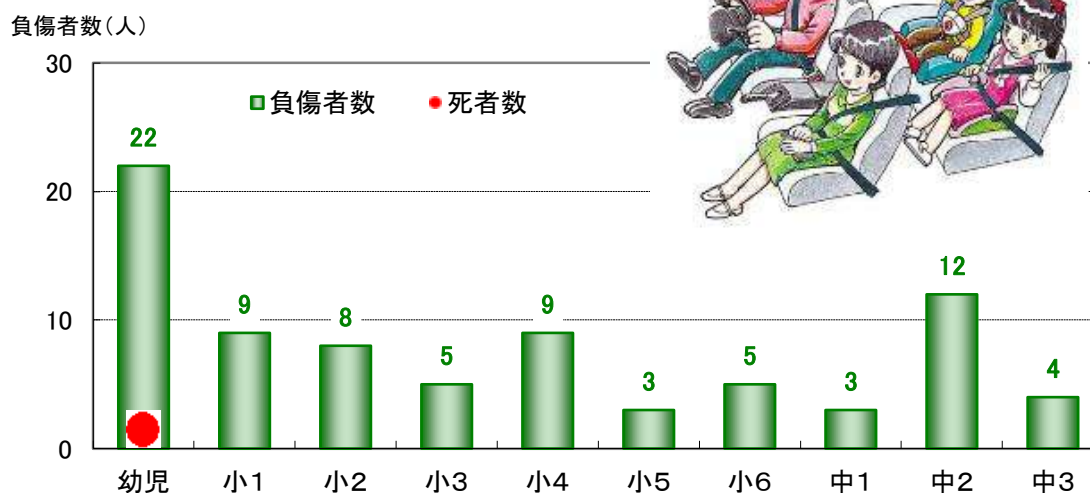
子どもが死亡する事故が2年連続して発生した。



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
死者数	1		2						1	1
負傷者数	210	258	266	245	203	167	136	136	143	80

(注: 子どもは中学生以下)

(2) 学齢別死傷者数



	幼児	小学生						中学生			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
死者数	1										1
負傷者数	22	9	8	5	9	3	5	3	12	4	80

(3) 状態別死傷者数

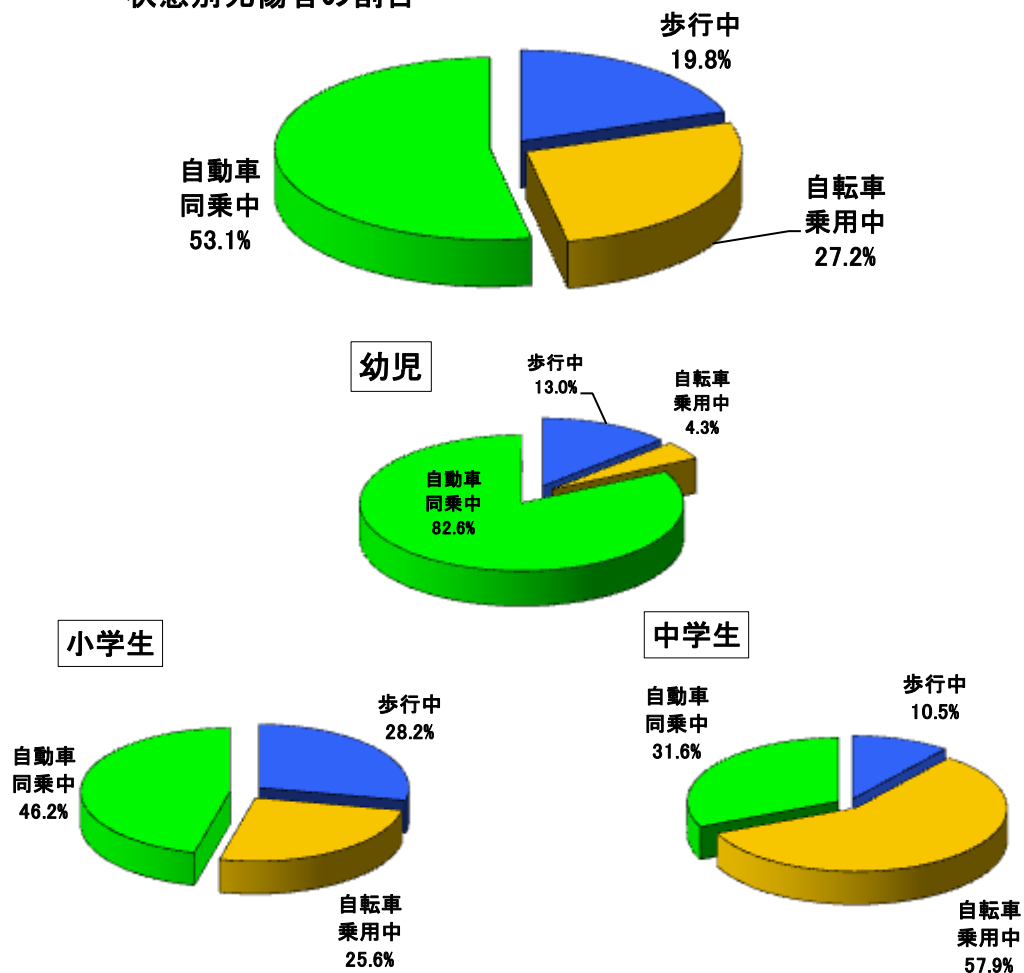
子どもの死傷者数を状態別で見ると、自動車同乗中が全体の53.1%で最も多い。

学齢別で見ると、幼児は、自動車同乗中が82.6%を占めている。

小学生は、自動車同乗中が46.2%を占める。

中学生は、自転車乗用中が全体の57.9%を占め最も多い。

状態別死傷者の割合



		歩行者	自転車		自動車		二輪車		合計
			運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中	
死者数	幼児	1							1
	小学1~3								0
	小学4~6								0
	中学生								0
	計	1	0	0	0	0	0	0	1
負傷者数	幼児	2	1			19			22
	小学1~3	9	3	1		9			22
	小学4~6	2	6			9			17
	中学生	2	11			6			19
	計	15	21	1	0	43	0	0	80

4 高齢者の交通事故

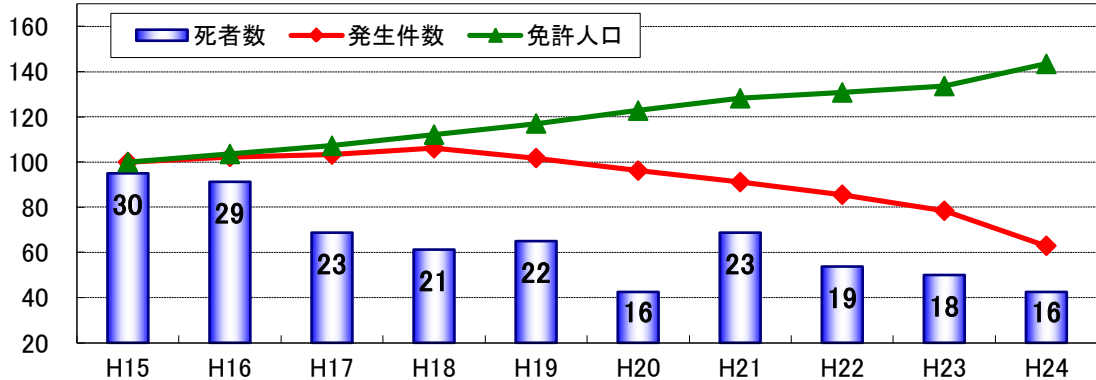
(1) 高齢者の交通事故の推移

高齢者の死者数は、平成22年以降3年連続で減少したが、全死者に占める高齢者の割合は53.3%と高率

高齢者が第1当事者の事故は、平成19年以降6年連続で減少し、300件を下回った。

高齢者免許人口は増加傾向で推移し、平成15年の約1.4倍

(指数)



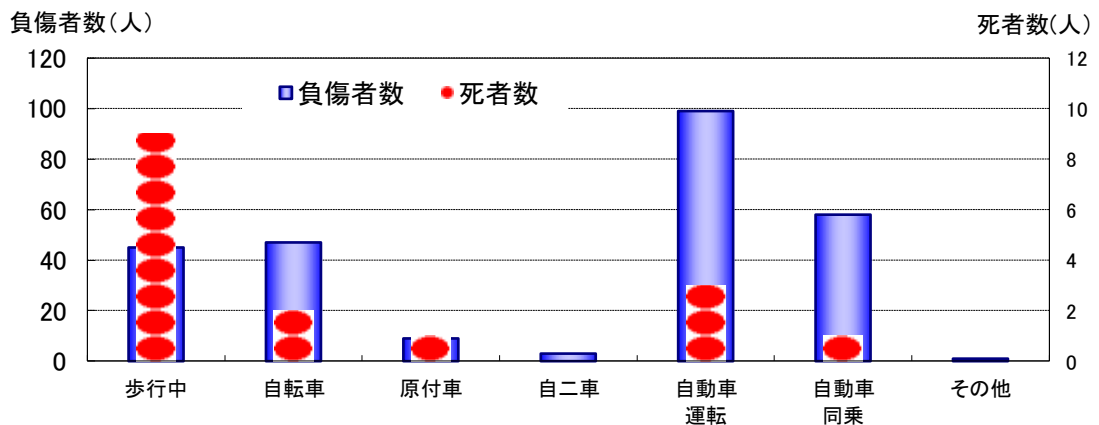
※発生件数は高齢者が第1当事者の事故件数。指数は平成15年を100とする。

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
発生件数	394	403	407	418	401	379	359	337	309	248
死者数	30	29	23	21	22	16	23	19	18	16
負傷者数	542	542	577	558	510	449	433	370	294	262
高齢者免許人口	52,159	54,022	55,917	58,491	61,063	64,029	66,881	68,218	69,711	74,822

(2) 状態別死傷者数

高齢者の状態別死者数は、歩行中が9人で、高齢死者の56.3%を占めている。

負傷者は、自動車運転中が最も多く37.8%を占めている。

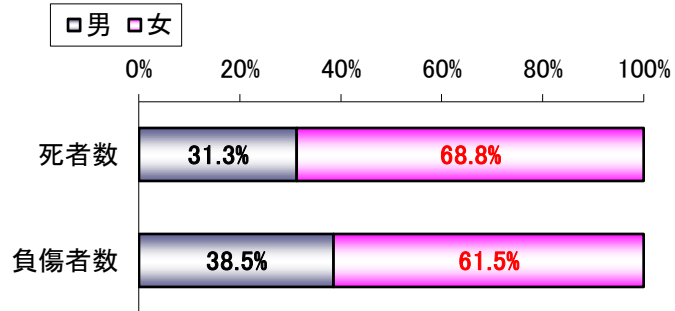


	歩行中	自転車乗車中	原付車乗車中	自二車乗車中	自動車運転中	自動車同乗中	その他	合計
死者数	9	2	1		3	1		16
構成率	56.3%	12.5%	6.3%		18.8%	6.3%		100%
負傷者数	45	47	9	3	99	58	1	262
構成率	17.2%	17.9%	3.4%	1.1%	37.8%	22.1%	0.4%	100%

(3) 男女別死傷者数

男女別では、死者、負傷者とも女性が多い。

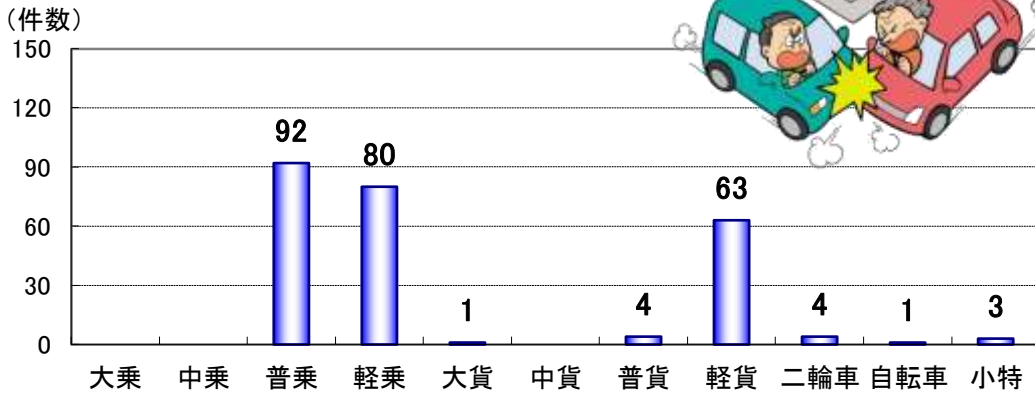
	死者数	負傷者数
男	5	101
構成率	31.3%	38.5%
女	11	161
構成率	68.8%	61.5%
合計	16	262



(4) 高齢者(第1当)事故件数

高齢者が第1当事者事故の車種別では、普通乗用自動車が多くなり、次いで軽四輪乗用自動車、軽四輪貨物自動車の順となっている。

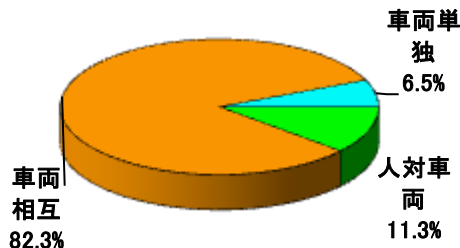
事故類型別では、追突が最も多い。



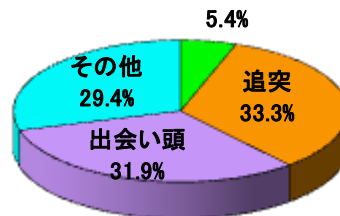
ア 第1当事者車種別・男女別

	大型乗用	中型乗用	普通乗用	軽四乗用	大型貨物	中型貨物	普通貨物	軽四貨物	自二車(含原付)	自転車	小特	合計
発生件数			92	80	1		4	63	4	1	3	248
男			69	47	1		3	52	2		2	176
女			23	33			1	11	2	1	1	72

イ 事故類型別



車両相互の類型

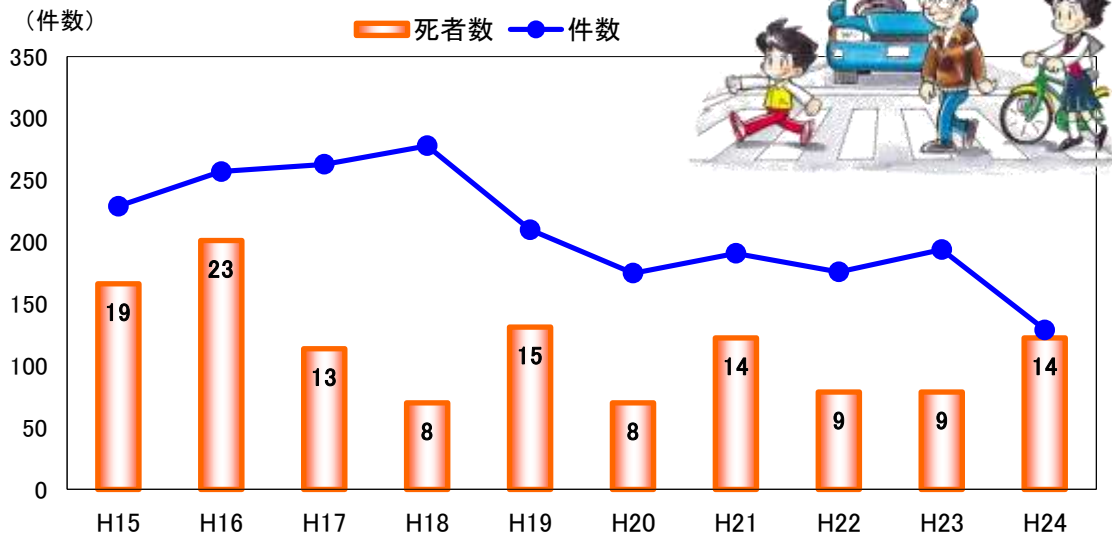


	人対車両		車両相互				単独	踏切	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	その他			
発生件数	22	6	11	68	65	60	16	248	

5 歩行者の交通事故

(1) 歩行者の交通事故の推移

前年に比べ件数、負傷者数は大幅に減少したが、死者数が増加

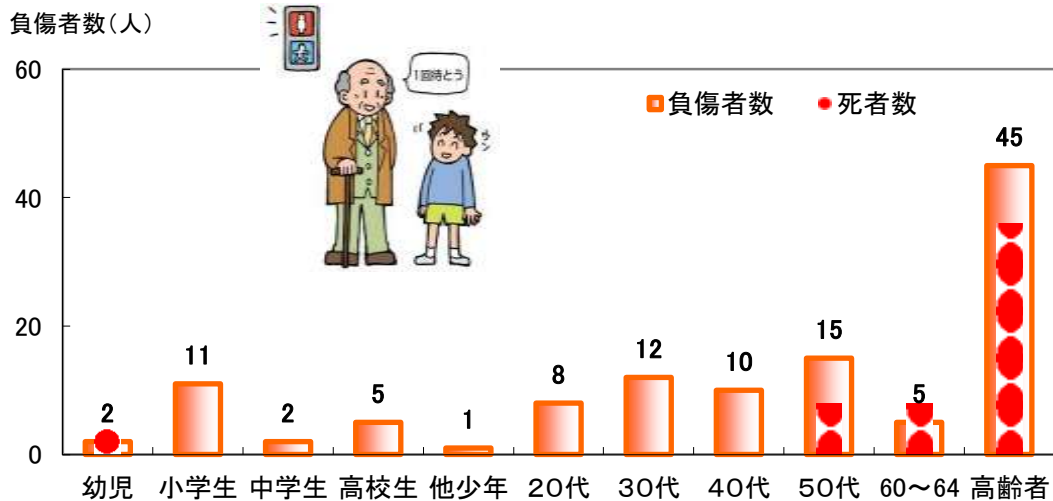


	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
発生件数	229	257	263	278	210	175	191	176	194	129
死者数	19	23	13	8	15	8	14	9	9	14
負傷者数	221	249	250	276	196	174	182	173	190	116

発生件数：歩行者事故の件数

(2) 年齢層別死傷者数

死者・負傷者とも高齢者が多い。



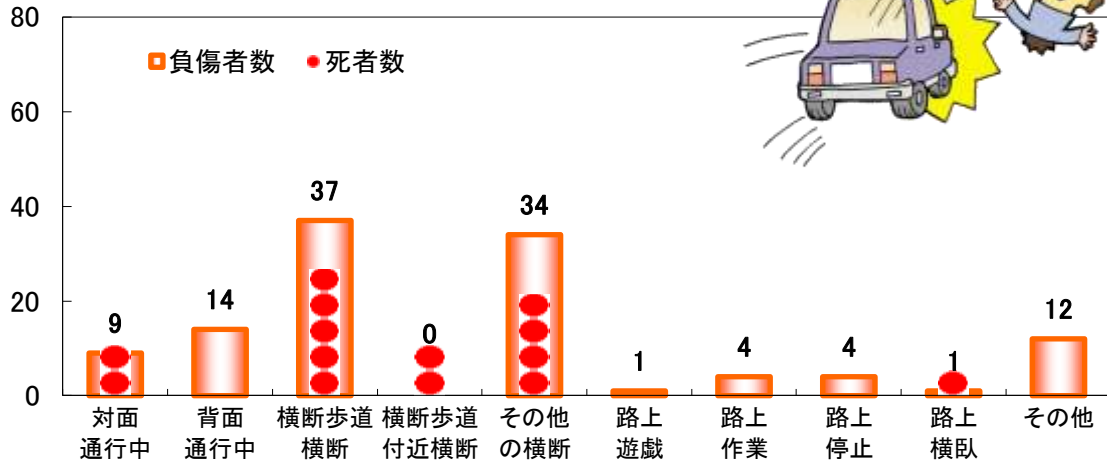
	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	計
合計	3	11	2	5	1	8	12	10	17	7	54	130
死者数	1								2	2	9	14
負傷者数	2	11	2	5	1	8	12	10	15	5	45	116

※1件で複数の歩行者が負傷した事故が1件あり。

(3) 事故類型別死傷者数

発生件数、死者、負傷者とも横断歩道横断中の事故が多い。

負傷者数(人)



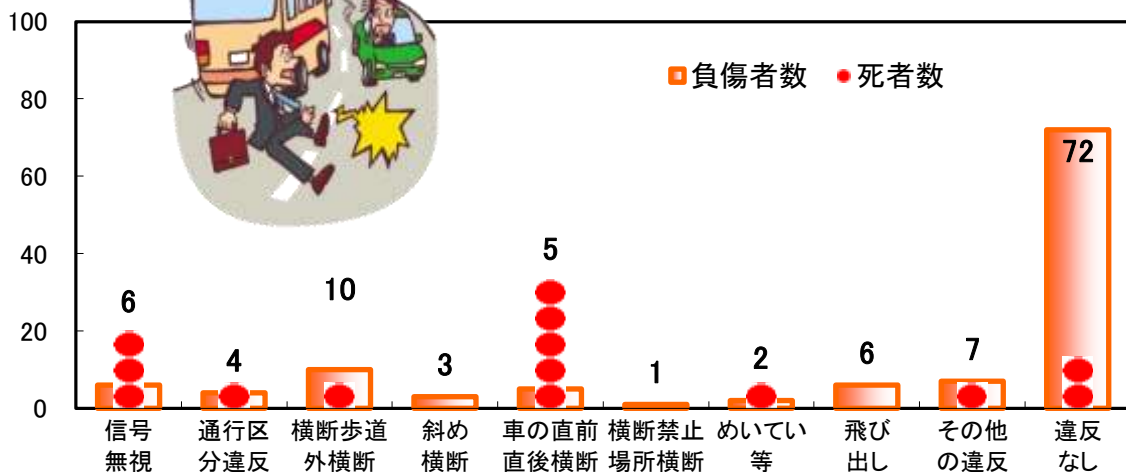
	対面通行中	背面通行中	横断歩道横断	横断歩道付近横断	その他の横断	路上遊戯	路上作業	路上停止	路上横臥	その他	合計
発生件数	11	14	42	2	38	1	4	4	2	11	129
死者数	2		5	2	4				1		14
負傷者数	9	14	37		34	1	4	4	1	12	116

発生件数:歩行者事故の件数

(4) 歩行者の違反別死傷者数

死傷者の48.3%に何らかの交通違反があった。

負傷者数(人)

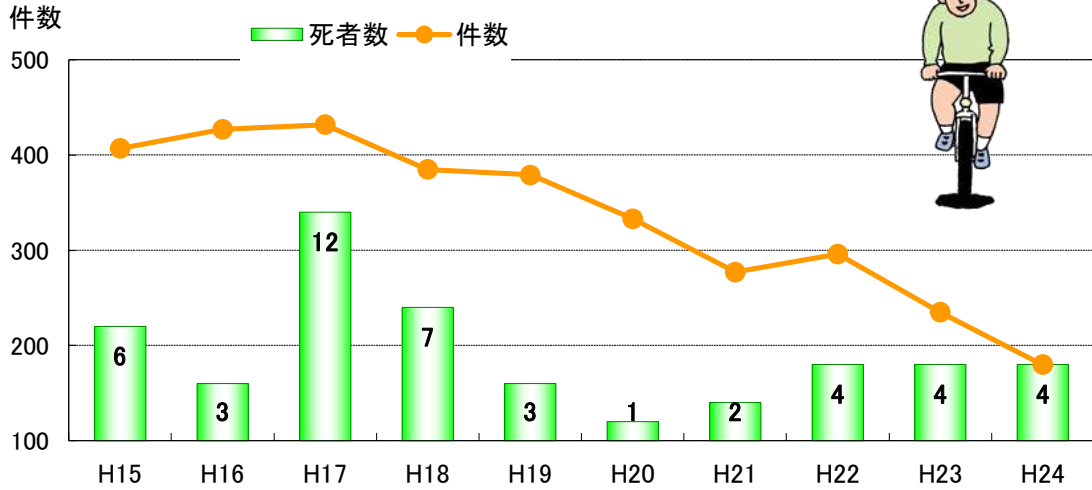


	信号無視	通行区分違反	横断歩道外横断	斜め横断	車の直前直後横断	横断禁止場所横断	めいてい等	飛び出し	その他の違反	違反なし	合計
死者数	3	1	1		5		1		1	2	14
負傷者数	6	4	10	3	5	1	2	6	7	72	116

6 自転車の交通事故

(1) 自転車の交通事故の推移

発生件数、負傷者数は前年から減少したが、死者数は同数であった。

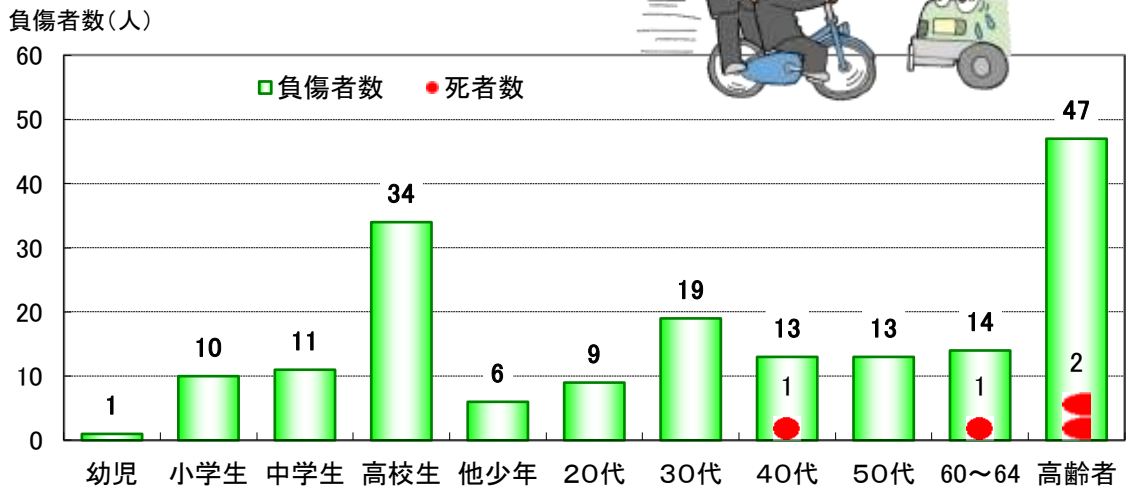


	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
発生件数	407	427	432	385	379	333	277	296	235	180
死者数	6	3	12	7	3	1	2	4	4	4
負傷者数	405	430	419	378	371	336	272	291	233	177

発生件数: 自転車事故の件数

(2) 年齢層別死傷者数

年齢層別死傷者は、高齢者と高校生が多い。



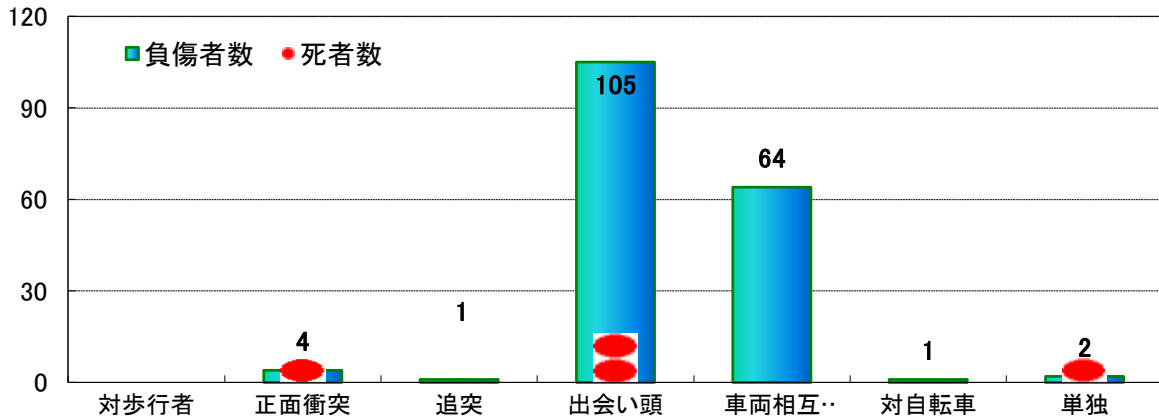
	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	合計
合計	1	10	12	35	6	9	19	14	13	15	49	183
死者数								1		1	2	4
負傷者数	1	10	11	34	6	9	19	13	13	14	47	177
負傷なし			1	1								2

※ 1件で自転車利用者が複数人関わった事故が3件あり。

(3) 事故類型別死傷者数

事故類型別では、出会い頭が最も多く、半数以上を占めている。

負傷者数(人)



	対歩行者	対 車 両 事 故				対自転車	単独	合計	うち 同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	その他				
発生件数		5	1	107	63	1	3	180	
死者数		1		2			1	4	
負傷者数		4	1	105	64	1	2	177	2

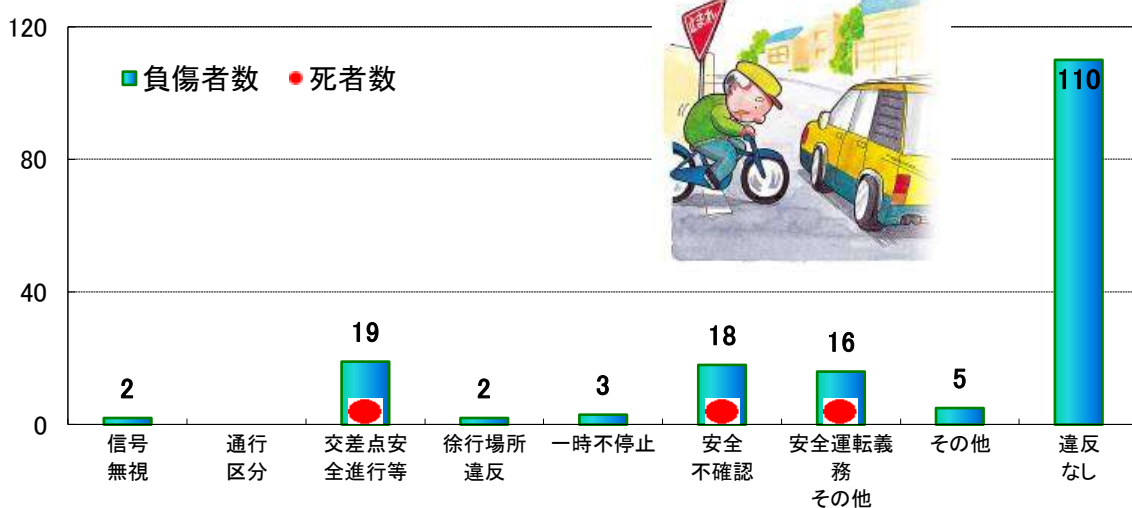
※ 発生件数は自転車事故の件数、グラフ中の「対歩行者」は事故類型でいう人対車両

※ 対自転車の件数は外数(正面衝突1件)

(4) 自転車の違反別死傷者数

自転車の約4割に違反があり、安全不確認や、交差点での違反が目立つ。

負傷者数(人)

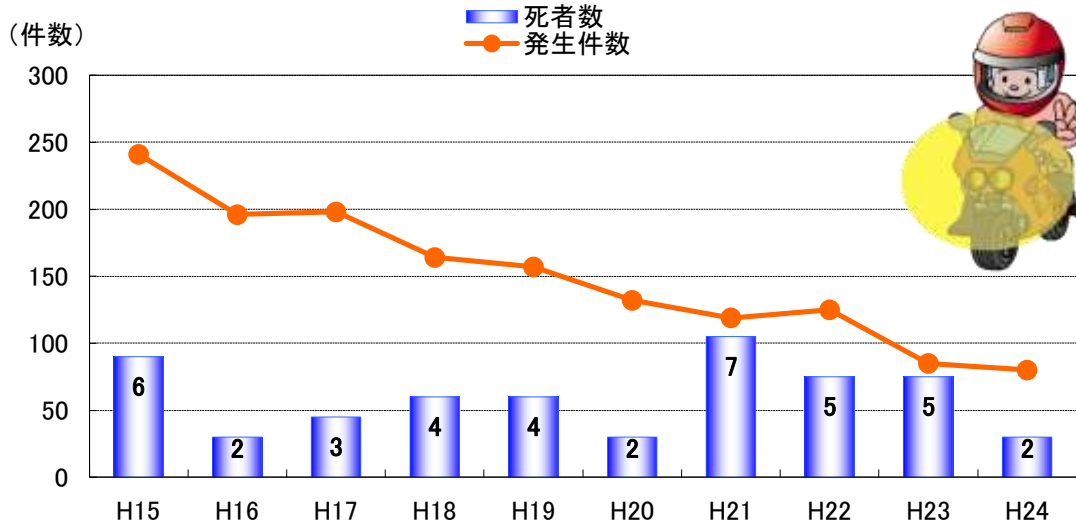


	信号無視	通行区分	交差点安全進行等	徐行場所違反	一時不停止	安全運転義務		その他	計	違反なし	合計
						安全不確認	その他				
死者数			1			1	1		4		4
負傷者数	2	2	19	2	3	18	16	5	67	110	177

7 二輪車(自動二輪・原付)の交通事故

(1) 二輪車の交通事故の推移

発生件数、死者数は前年より減少したが、負傷者数は増加した。

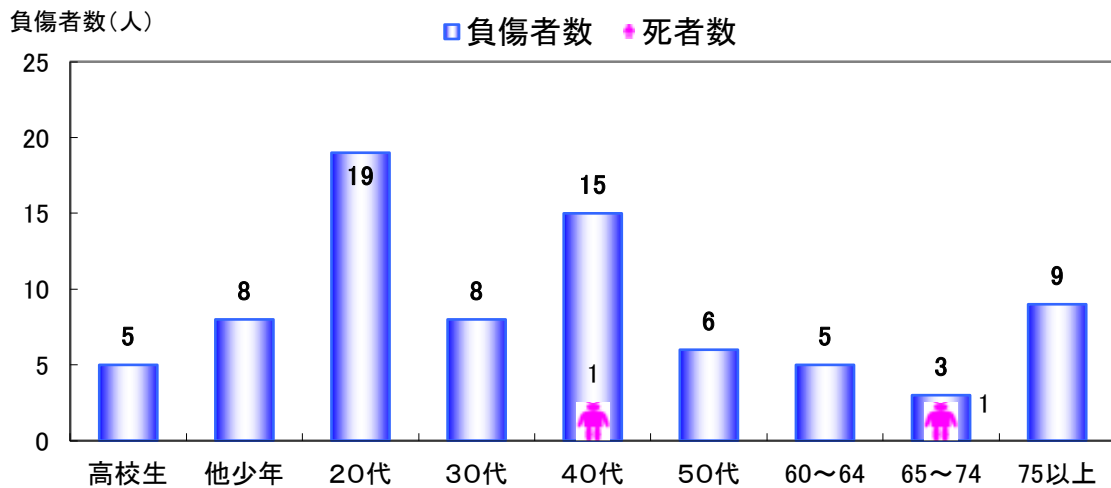


	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
発生件数	241	196	198	164	157	132	119	125	85	80
死者数	6	2	3	4	4	2	7	5	5	2
負傷者数	230	184	181	147	150	122	108	118	77	78

発生件数は二輪車の交通事故件数

(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)

死傷者数は、20代、40代と高齢者が多い。

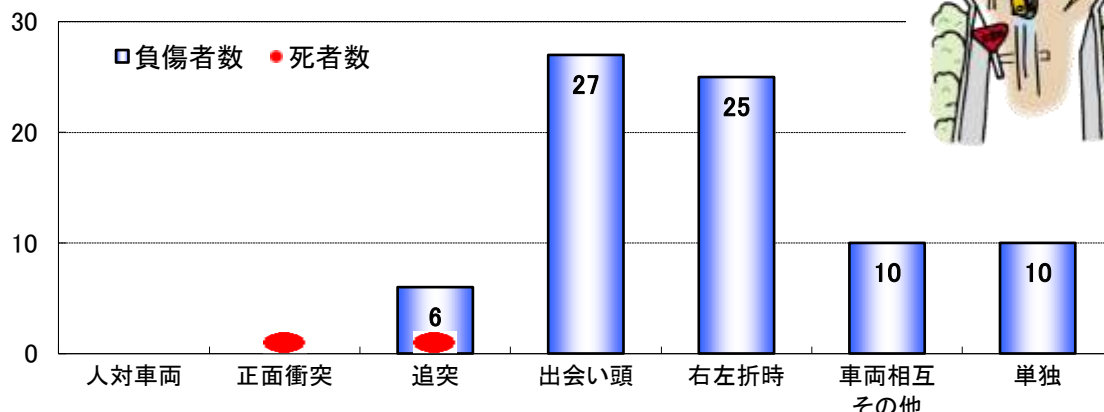


	高校生	その他の少年	20代	30代	40代	50代	60～64	高齢者	合計
合計	5	9	19	9	16	6	5	14	83
死者数					1			1	2
負傷者数	5	8	19	8	15	6	5	12	78
負傷なし		1		1				1	3

(3) 事故類型別死傷者数

事故類型別では、出会い頭と右左折時が全体の66.3%を占めている。

負傷者数(人)



	人対車両	車両相互					単独	踏切	合計	うち同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他				
発生件数	1	1	6	29	24	9	10		80	
死者数		1	1						2	
負傷者数			6	27	25	10	10		78	1

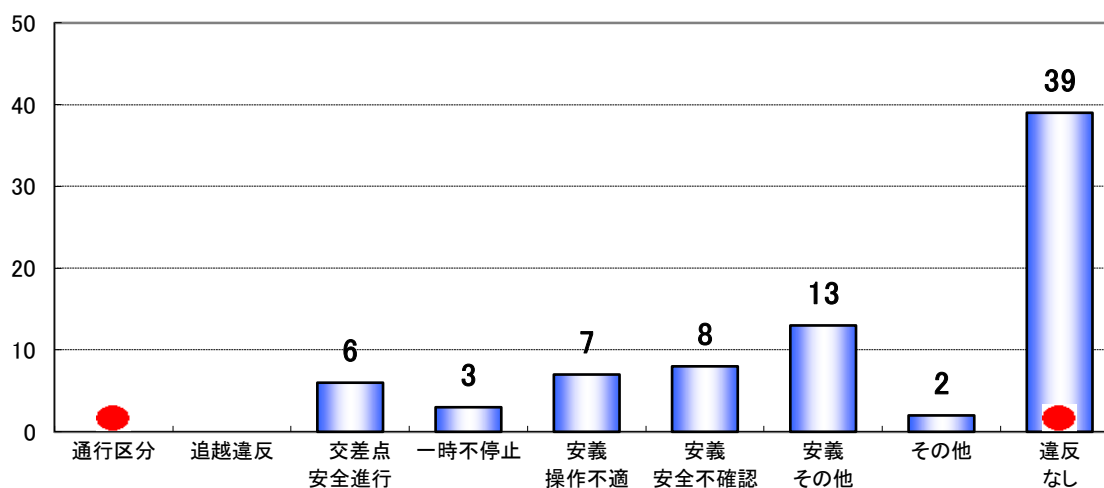
発生件数は二輪車の交通事故件数

(4) 二輪車の違反別死傷者数

二輪車の違反別では、安全不確認と操作不適が多い。

負傷者数(人)

□負傷者数 ●死者数



	通行区分	追越違反	交差点安全進行義務	一時不停止徐行違反	安全運転義務			その他	違反なし	合計
					操作不適	安全不確認	その他			
死者数	1							1	2	
負傷者数			6	3	7	8	13	2	39	78

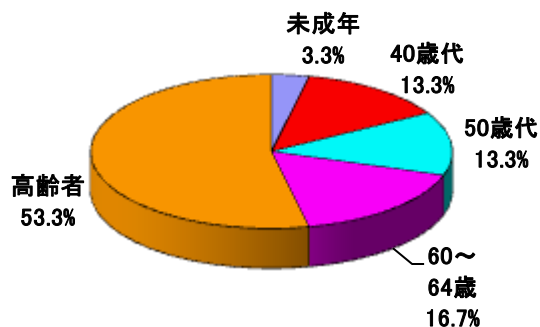
8 交通死亡事故発生状況

(1) 年齢層別・状態別死者数

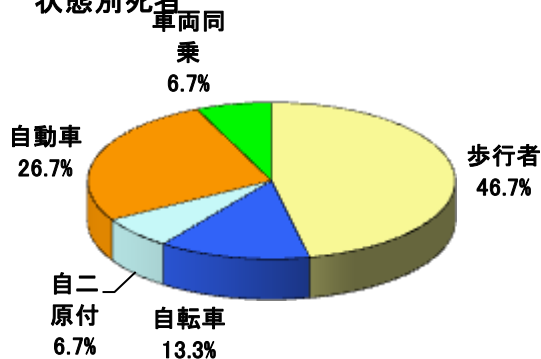
死者の年齢層別では、高齢者が16人(53.3%)、次いで60～64歳の順となっている。

状態別では、歩行中が14人と最も多く、次いで自動車運転中の順となっている。

年齢層別死者



状態別死者

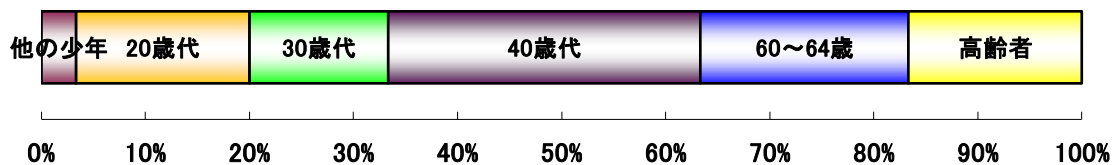


	子ども	高校生	他の少年	20代	30代	40代	50代	60～64歳	高齢者	合計
歩行者	1						2	2	9	14
自転車						1		1	2	4
自二・原付						1			1	2
自動車						2	2	1	3	8
車両同乗								1	1	2
合計	1					4	4	5	16	30

(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数

死亡事故の第1当事者の年齢別では、40代が9件で最も多い。

状態別では、自動車運転中が大半を占める。

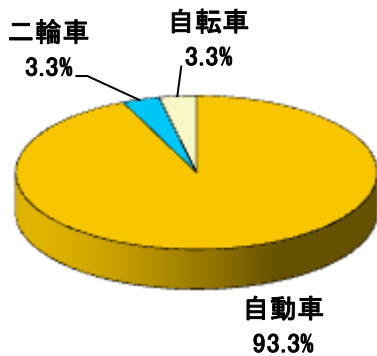


	高校生	他の少年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
自動車		1	5	4	7		6	5	28
自二・原付					1				1
自転車					1				1
その他									
合計		1	5	4	9		6	5	30

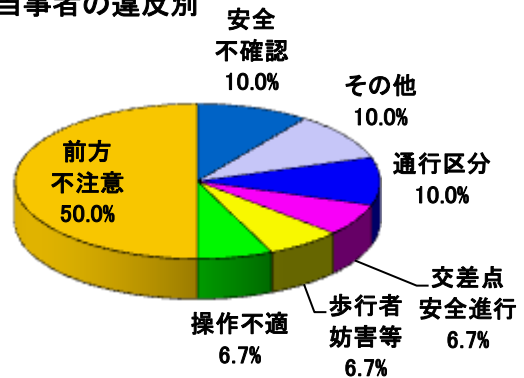
(3) 第1当事者の状態別・違反別件数

違反別では、前方不注意が最も多く、50.0%を占めている。

第1当事者の状態別



第1当事者の違反別



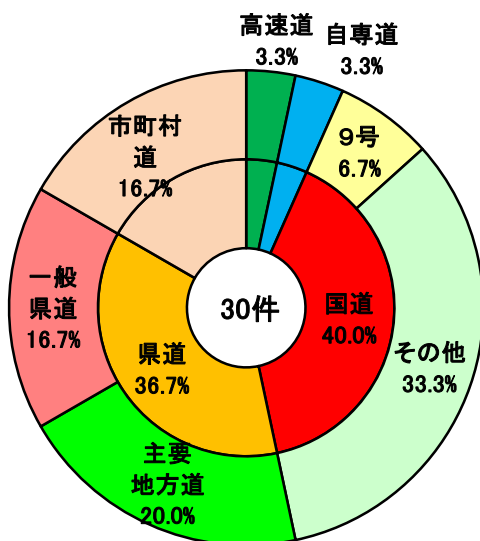
	通行区分	交差点安全進行	歩行者妨害	操作不適	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他	合計
件数	3	2	2	2	15		3	3	30

(4) 路線別・道路形状別件数

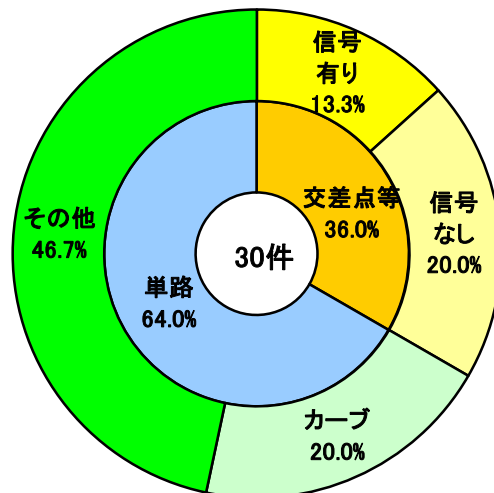
路線別では、国道が40.0%を占め最も多い。

道路形状別では、単路での事故が最も多く64.0%を占めている。

路線別死亡事故



道路形状別死亡事故



	高速道	自専道	国道				県道	市町村道	その他	合計
			9号	29号	53号	その他				
件数	1	1	2	1	2	7	11	5	30	

	交差点等			単路			踏切	その他	合計
	信号有り	信号なし	計	トンネル	カーブ	その他			
件数	4	6	10		6	14	20		30

平成24年版
図解交通年鑑

鳥取県警察本部交通部交通企画課

鳥取市東町1-271 TEL 0857-23-0110
